

Shoboku, Mishima.

702, Sendagaya.

Johriyuba.

Johri.

192.

先夜は初めおめい、此まことにうれしく存じます。

お紹東の百お稽たつ入おくれま——申わけ

ひおつませんひら。つり、先紹の仕事を

おげれまうん、申わけひおつません。

おつことかま——お送うそ——

つまらぬ批評で、すまぶく存じます。

えおもうん、よければ、御採用下さります。

あるければ、あすこ、下さるん、ちっともかまいません。

御意慮あくおちこて存じます。

それに、私は字がまづいのか、その上りえつておれ

本うん、日さる、あよせはくつこと、おれ

すまぶく存じます。

別封り、物のつまらぬ本をお送うそ——

片からかんか、ますと、お取か——ものはあり

ひおつませんが、はうまとめ、還きたあつたか、

一冊としたもの、ひおつません、何年お叱り下さります。

創佐集は近く、第二集をお出——

お送うそ——ます、第一集はお取か——

ますあのか、

塩原には、よかつたら、お出下さります。

三嶋章道

島田素奉様

東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町七百六十二番地

三 島 章 道